



## 新年の挨拶 有松まちづくりの会会長 中濱 豊

皆様、新年あけましておめでとうございます。

有松まちづくりの会は、今年度設立50周年の節目の年を迎えました。昨年10月には、河村たかし名古屋市長より長年に及ぶ町並み景観保存活動について感謝状を拝受致しました。これからも会員の皆様のお知恵やお力をお借りしながら活動を続けていきたいと思っております。現在「有松町並み保存地区内で建築行為等を行う際に必要な手続き」のご案内を順次各戸にポスティングさせていただいております。何卒ご一読いただき建築行為を行う場合は、早めに名古屋市歴史まちづくり推進室へご相談ください。皆様の努力で明日の、未来の、有松の美しい景観を維持そして向上していきましょう。

本年は辰年にあたり、願わくば有松への来町者数が龍が天にも昇る程に増えて賑わう事を期待しています。1月からも様々なイベントが予定されております。寒中ではございますが、暖かくして是非お出かけ下さい。

皆様と有松にとって素晴らしい一年になります様に！

## 有松まちづくりの会役員会（12月25日）

有松まちづくりの会50周年を機に、これからのあり方を考える「有松を語ろう会」は3月20日(水・祝)午後、会の発足に縁の竹田家書院で開催と決まった。また、有松重伝建地区の路上禁煙について、今後会として取り組んでいくことになった。福よせ雛さんぽみち開催は、2月23日～3月24日。文嶺講より、1月から2年間山車会館の管理・担当は絞組合になるとの報告があった。

## 秋葉大社祭（12月16日）

有松は秋葉講が盛んで、各町に秋葉社があります。祇園寺境内にも秋葉堂が建っています。

秋葉山本宮の例大祭に合わせて毎年12月16日に行われています。なお、松原秋葉社(境松)と東町秋葉社(有松中学校東)は別の日に行われています。



市長室での感謝状拝受

(左)河村市長 (右)中濱会長



今月の花 苔玉とまつ  
(花屋Luore 提供)



## 有松天満社の賑い

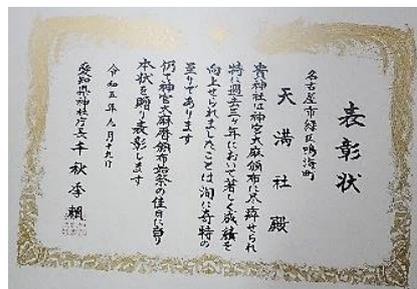
### ● 新嘗祭と天満社への表彰状伝達（11月25日）

新嘗祭は天皇が神様に新穀を捧げ、収穫を感謝する儀式。古代よりの神事であり、明治に新暦になると11月23日に行われるようになりました。戦後の勤労感謝の日につながる行事です。有松では11月25日に行われています。神事後の亀垣宮司の話が面白い。「本来、新米はこの日からしか食べられなかったのですが、この風習はすたれてしまいました。ワインのボージョレヌーヴォー解禁日のイメージです」と。

合わせて、天満社が過去3年間(令和2年～4年)参拝者を大幅に増やしたとして神社庁より表彰された旨報告があり、表彰状の伝達式が行われました。



(上)神事 (下)伝達式



### ● ふらんすぱんの市（11月25日・26日）

11月28日は「いいフランスパンの日」とか。愛知県を中心とした人気ベーカリーが大結集するパンマルシェ、県内初開催の場がここ天満社。食べ放題に惹かれてか、上の広場(左写真)では長い行列ができていました。下の広場では販売が行われていました(右写真)。

新嘗祭にふさわしいイベントのようです。



### ● 元旦祭準備（12月17日）

少し寒かったです。風もほとんどなく、何よりの作業日和でした。9時少し前、文嶺講総代や各町の山車関係者が社殿前に集まり準備作業が行われました。例年通り、東町はのぼり旗・中町は提灯・西町はテントの作業です。多くの人手で約1時間で終了。のち、社殿の清掃等が行われました。

以前は文嶺講総代のみで終日掛けての実施でしたが、人手不足もあり今の形になったそうです。子連れの参加者もあり、天満社が地域に溶け込んでいることが伝わってきました。記者ものぼり旗付けをしたのですが、見ている以上に大変な作業だと知らされました。また、のぼり旗製作にも多くの人が関わっていることに気づかされました。



上:のぼり旗 下:テント張り/提灯付け

### ● 注連縄(しめなわ)作り（12月3日）

今年も牛未(ごよう)会の皆さんにより寄進する注連縄作りが、下の広場、第三鳥居付近で行われました。牛未会は昭和17・18年生まれの厄年会(代表 山口 弘さん)。この日は12名程が集まり、より良いものを作ろうと汗を流していました。



## 第15回 有松コミセンまつり (11月22日・23日)

有松コミセンは開館して16年余り。コミセンまつりは、30を超える利用グループの活動発表の場として行われています。23日には有松小学校体育館でコロナ後初の舞台発表も。有松あなびとの会のコーナーでは、主に”よもやまばなし”の紹介がされていました。



## あいちのたてもの博覧会2:大高 春光院 (11月26日)

竹田庄九郎家の書院が明治12年(1879)に大高 春光院に移築されています。右上の鳥瞰図でその外観は分かりますが、今回の見学会で内部を直に見ることができました。幕末の建造。襖には狩野永秀の筆による絵が描かれています。

狩野永秀は中橋狩野家15代の門下で、明治以降も狩野派の古老として活躍。

芦鷺図襖絵→



## 桶狭間魅力発見ツアー (12月5日・12日) ※ 緑生涯学習センター主催

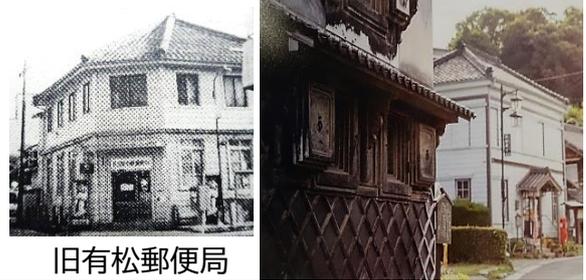
有松にとって桶狭間は母なる地です。そこを深掘りするツアー。5日は長福寺(左)で桶狭間の戦いを偲び、12日は神明社で有松との結びつきの深さを知らされました。献納灯籠に絞商の名を見つけました。



## 鈴木伸明写真展 Piece of CHITA (12月2日~9日) 於:六弦とコットン

CHITAに惹かれて展示会場に。知多半島の町並み写真が所狭しと展示されていた。興味深く見たのは写真右「レトロ建建築物共演」だ。「知多岡田地区 日本最古級の現役の郵便局」との案内文。旧有松郵便局(昭和5年頃)の洋館とそっくりではないか。

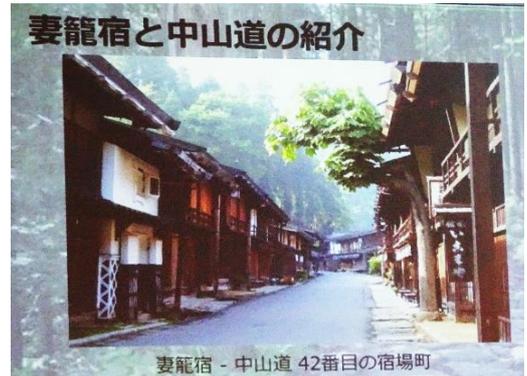
ある本に、知多半島は有松 手越川以南とあった。



旧有松郵便局

## 桜花学園大学観光総合研究所 公開講座(11月30日) 於:ウインクあいち

60名程の参加者が熱心に聴講されていた。「重伝建妻籠宿の紹介」(妻籠を愛する会理事長 藤原義則氏)について報告する。有松にとって妻籠宿と今井町は50年前に全国町並み保存連連盟を立ち上げた同志。その妻籠宿の過去・現在未来。限界集落が、今では約6万人(2/3は外国人)をお出迎え。印象に残ったのが"貸さない・売らない・こわさない"の「住民憲章」の存在と、行政から補助を受けていないこと。つまり、本物志向と自立する気概の会であるようだ。



## 岡家住宅に”丸屋丈助のれん”現れる

”岡家住宅深掘りツアー”に関連して制作されました。江戸時代、有松の絞商たちは自家のPR用のチラシとして錦絵を作っていました。岡家住宅(丸屋丈助の店)の当時を描いたものに、今回のような大きなのれんが見られます。このようなのれん掲示は有松の江戸情緒を更に深めることになるでしょう。



錦絵「丸屋丈助店先」



## レンタルスペース moss Arimatsu 建設中

「わたしたちのやりたいを叶える」レンタルスペース作りが”ありまつ中心家守会社”のプロデュースで始まりました。オープンは今春。安藤来助商店の敷地西北の離れを全面改修。約14畳を時間貸し・曜日固定・一棟貸しなど希望に合わせて利用できること。他にキッチンやガーデンも計画中。天満社参道脇の好立地。



## ドゥマルシェの音楽広場 世界の町から (12月10日) 於: 棚橋家住宅

ドゥマルシェとはフランス語で2つ+市場の意味。二人の息がぴったりの演奏でした。子供連れも見られ、参加者40名ほどが聴き入っていました。2人の交代しながらの進行もよい。情熱的、魅力的な演奏約10曲が棚橋家住宅に、東海道を流れていました。



(左)アコーディオンMiyack(右)ヴァイオリン牧千恵子

次回の町家ライブ 3月3日(日)14:00~棚橋家住宅

## かえで道清掃 (12月3日)

### ◆掃除仲間にないませんか? 原則第4日曜日7:30~8:00 コミセン前集合

有松の隠れた名所。近年では4~5人で清掃を行っています。この時期は素晴らしい紅葉。作業は大変ですが、掃き終えた時の達成感と言うまでもありません。かつて伐採予定であったかえでの木を残す活動をしたまちづくりの会の先人たちが思いおこされます。



色づくかえで道

## 催事・行事予定

- 1月8日(月・祝) 10:00 成人式 有松中学校 緑区役所  
(有松・桶狭間・南陵区政協力委員会)
- 1月12日(金) 18:00 山車会館運営協議会 山車会館
- 1月14日(日) 08:00 東町秋葉社左義長 東町秋葉講  
09:00 左義長 有松天満社 文嶺講  
17:00 文嶺講総会 中町年行司
- 1月15日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 1月21日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 1月22日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

[pegasusb@mc.ccnw.ne.jp](mailto:pegasusb@mc.ccnw.ne.jp) 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。

## 小松孝泰写真展② 人力車

